

岐阜県立岐阜各務野高等学校

学 校 長 村山 義広

学校住所 各務原市鵜沼各務原町8丁目7-2 電話 058-370-4001

1 会議の名称 学校運営協議会 (第1回)

2 会議の構成	委 員	伊藤 浩	元各務原区長
		臼井 俊裕	元岐阜各務野高校長
		服部 憲浩	各務原市産業活力部農政課長
		池元 静香	サン・ビジョンジョイフル各務原施設長
		野島 栄子	子苑第二幼稚園長
		亀山 雅弘	P T A会長
		都築 三枝	P T A副会長

学校側	村山 義広	校長
	平川 正夫	教頭
	吉田美智代	教頭
	河手 克巳	事務長
	鈴木 雅雄	教務主任
	山田 誠治	生徒指導主事
	松本 正樹	進路指導主事
	久保 利光	ビジネス科主任
	後藤 誠司	情報科主任
	小又 友樹	福祉科主任
	鷺見 知美	記録係

3 会議の目的 地域住民や地域の関係機関及び、保護者が岐阜各務野高等学校の運営に積極的に参画することにより、その意向を学校運営に的確に反映し、生徒の健全育成と一層地域に開かれた信頼される学校づくりに資することを目的とする。

4 会議の開催 令和2年7月28日(火) 13:30~14:50 岐阜各務野高等学校会議室
委員6人(1人欠席)と学校側11人が出席
(1) 校長挨拶 学校運営協議会委嘱
(2) 参会者自己紹介

(3) 【議 事】(臨時進行：教頭)

第1号議案 会則及び運営組織について

第2号議案 会長及び副会長の選任

第3号議案 本校の学校運営について (校長)

(4) 【協議事項】教務部、生徒指導部、進路指導部

(5) 意見・要望・助言等

(6) 校長挨拶

5 会議の概要

校長挨拶 学校運営協議会委嘱

(1) 【議 事】会則及び運営組織について

令和2年度岐阜県立岐阜各務野高等学校運営協議会会則の承認 全委員が承認

(2) 【議 事】会長及び副会長の選任

令和2年度会長及び副会長の選任 全委員が承認

(3) 【議 事】本校の学校運営について

少子高齢化の進行、人口減少に伴い、労働人口及び地域産業の担い手が減少することが懸念され、本県の地域産業の維持・発展に貢献する専門的な知識、技術を有した産業人の育成は専門高校に課された責務である。また、県内の各種経済団体からは、県内の就職率を一層上げるように要望されているところである。本校の強みとして、それぞれ特色をもって3つの学科が設置されており、この社会のニーズに一層応えていきたい。そのためにも「ふるさと教育」を推進し、県内地域を学習のフィールドとして、地域の特性、物的財産、人材を有機的に結び付け、地域が抱える課題やテーマに対して研究課題を設定し、主体的に課題解決に取り組む教育活動を推進したい。一方でコロナ禍の現状においては、地域連携を通じた教育活動が滞っており、具体的な取組みができていない。さらに教員の働き方改革を推し進めるとともに、法的根拠に基づいて時間外在校等時間が月45時間を遵守するように校内の業務の見直し等、意識改革に努めている。

(4) 【協議事項】教務部、生徒指導部、進路指導部

校長より「本年度の教育指導の重点及び学校経営計画」を説明。続いて、分掌・学科における目標と重点について説明。

【教務部】

- ・コロナ禍において、様々な工夫をしてオンラインで学習支援を行ってきた。今後、タブレットが配布されることになり、ICTを活用した授業を実践していかなければならない。
- ・警報等による休校の備えについても、職員で協力をして対応策を考える必要が

ある。

- ・本校に入学して良かったという生徒は多く、今後も「多くの仲間が得られた」、「専門的な知識が学べた」、「部活動で成績を残せた」という意見が引き続きあるような、良い学校生活を送ってもらえるよう努力していく。

【生徒指導部】

- ・今年度は、4月から約2か月に及ぶ臨時休業措置をとったために、例年との比較が難しいが、遅刻数が減っている状況である。
- ・生徒を対象として現在までに5回の「こころのアンケート」を実施した。今後も生徒に寄り添った教育相談をしていきたい。
- ・いじめに関して、全校生徒を対象に、メールによる調査を行うとともに、調査内容を詳細に分析し速やかな対応を講じた。また、最近の生徒動行に関して、生徒支援会議を開催し教員間で情報を共有しその後の指導に生かしている。

【進路指導部】

- ・特に専門学科で学ぶことの大切さ、将来をしっかりと考えさせることに重点を置いて指導している。昨年度の進路状況については別添資料のとおりである。
- ・本年度は、求人数が減少した。その他に入試日程の変更、入試制度の変更など、本年度の3年生は変化の年であるといえる。3年生と教員が一丸となって、進路実現を図っていきたい。

(5) 意見・要望・助言等

委員から意見や助言をいただいた。

〔意見1〕

当施設の教育実習に、毎年とても熱心な生徒たちが来ており、大変感謝申し上げたい。貴校卒業生が数名、当施設に就職している。

〔意見2〕

残念ながら、一般的には幼児教育という職業に対する意識が少しずつ低くなり、実習の希望者も少しずつ減少している。本年度、コロナ禍も影響して岐阜各務野高生の当園での教育実習はなくなるのか。毎年、本園における教育実習に対する姿勢や貴校生徒の態度には好感がもてる。

⇒(回答) 実習は体験的な学習であるため大切にしたい。現在も、福祉科は介護実習を実施している。コロナ禍であるが、可能な限り、幼児実習、介護実習を行うことで、学校での学びを現場で生かしていきたい。

〔意見3〕

コロナ禍で先行きが不透明な中、子どもたちの就職や進学などの進路情報の提

供や、様々な情報を提供するツールとして、「すぐメール」を活用してほしい。新型コロナウイルス感染拡大の第2波が来ているのではないかという今の現状、一層深刻となることを想定して授業の工夫や教科指導の在り方、または不安な生徒への対応を考えて頂きたい。

〔意見4〕

コロナ禍において、部活動や文化祭、体育祭などの学校行事も目標を設定しづら
いが、充実させて欲しい。

⇒（回答）運動系の部活動の各種大会が中止になっている。商業系の部活動も同
じ現状である。そこで、本校の対応として、校内の、商業系部活動の大会を実施
したいと計画している。

〔意見5〕

コロナ禍の中、様々な教育活動が職員の荷にならないような対応をして欲しい。
「With コロナ」という言葉もある中、どう対応していくのかを考える必要があ
る。自治会の方では、地域の連絡網を充実させようという取組みが進んでいる。
スマホの Line アプリを通じて、高齢者の安否を確認できるようにスマホ教室の
実施を予定している。

6 会議のまとめ

学校運営協議会の設置と運営組織及び本年度の学校経営方針について、全委員から承認を頂いた。緊急事態の下でも、教員の継続的な授業の改善を実施するとともに、生徒の学びに向かう姿勢・思考能力を育てたい。今回の会議では、委員の方々から、学校に対しての多くの意見を寄せて頂くことができた。頂いた意見を参考にして、一層学校改善に努めるとともに、目に見える成果を発揮できる場として、本校生徒の活躍の場をさらに設け、開かれた学校づくりを推進したい。今後も、地域との連携を大切にしながら、地域の方々に愛される学校を目指していきたい。